

＜校務・教育利用＞ ③⑤ 生成AIを活用するための環境整備

生成AIパイロット校の目的

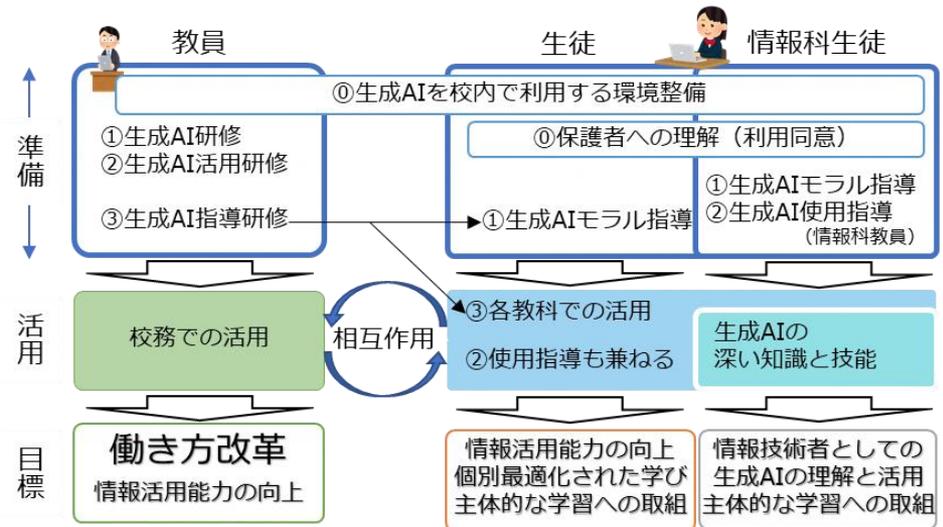
- ◆ 学校全体で生成AIを適切に利用できる環境をつくり、教員・生徒ともに生成AIを活用することで、情報活用能力の向上を目指す。
- ◆ 生成AIを活用し「主体的に学習に取り組む態度」の向上を目指す。

教員への普及方針

- ◆ 生成AIを活用したい教員が、問題なく活用できる環境を構築する。生成AIを利用できる人から、活用の輪を広げていく。
- ◆ 生成AIの活用を必須にするのではなく、実際に生成AIを活用するかは各教員に委ねる。

①生成AIを利用できる環境整備

- ◆ 使用生成AI
学校として指定せずに担当者で判断するものとした。
- ◆ 保護者の承諾
利用するAIを限定せず「生成AI」の利用許諾を依頼し、オンラインによる承諾を実施した。承諾を得られない家庭には、電話等で直接説明を実施し、承諾のお願いを行った。
- ◆ 校内ガイドラインの更新
「教員向け」「生徒向け」のガイドラインの更新



生成AIを学びに活かすステージ

① 生成AIを利用できる環境整備

- ① 生成AI自体を学ぶ段階
- ② 生成AIの使い方を学ぶ段階
- ③ 各教科等の学びにおいて積極的に用いる段階
- ④ 日常使いする段階

文部科学省 初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン 10Pより作成